

実証テーマ： サイクリングで荒川水系を巡るアウトドアスポーツの滞在型コンテンツ造成・実証事業

概要： 地域コーディネーターを軸にしたアウトドアスポーツに競技性を掛け合わせた滞在型のコンテンツ造成

現状認識とターゲット

課題

(1)低単価・低収益による
単発的なコンテンツの実施

(2)日帰り来訪客による
限定的な経済インパクト

(3)限定的な旅行事業者とのパイプ

(4)地域コーディネーターの人材不足

解決に資する取組

- (1)-①スポーツへと昇華させた観光コンテンツによる価値向上
- (1)-②スポーツ化した観光コンテンツの持続的な提供
- (1)-③洗練された地域コーディネーターの育成
- (2)-④複数コースを組み合わせた滞在型プランの造成
- (2)-⑤ジオ・マークのデジタル観光マップによる滞在誘因
- (3)-⑥PRツールの作成による旅行事業者等への情報発信
- (3)-⑦旅行事業者等への営業
- (3)-⑧2024台北国際旅行博への出展
- (4)-⑨地域おこし協力隊・アウトドア事業者への参画依頼

ターゲット

欧州のインバウンド
(20～30代・中間層・小グループ)

台湾のインバウンド
(30～40代・中間層・個人旅行者)

小川町近隣市町村在住者
(40～50代・中間層・ファミリー層)

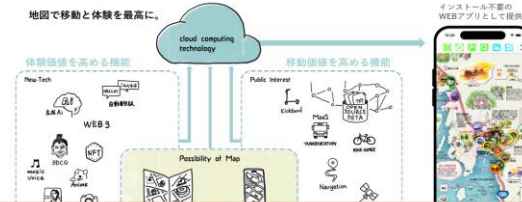
取組の3つの軸

地域コーディネーターによる看板商品造成



地域の人脈・産業に精通するコーディネーターを軸にし、DMCや国内外の販路を持つ旅行会社と連携し、ニーズにあった地域にどっぷり入ることのできるツアーの造成

スポーツ×デジタルマップによる体験価値の向上



自転車の移動そのものを価値と捉え、マップがあることで体験価値の向上、数値化による競技性の追加などスポーツと地域観光の新たな価値の創造

プロモーションによる地域ブランディング



地域コーディネーターが造成した商品、その人柄が出るコンテンツブックや動画の制作、地域で活動する人にフォーカスし、ターゲットに合わせたPRの実施

コース案と価値創出

コースタイトル	1300年の歴史を巡る日本茶アクティビティツアー
ターゲット	欧州の30～40代の知識人層
ストーリー	500年ぶりに復活した銘茶「慈光茶」と豊かな清流を堪能するリトリート
コースタイトル	嵐山溪谷から始まる槻川・都幾川をアクティブツアー
ターゲット	訪日リピーターになっている30～40代の台湾人の小グループ
ストーリー	川をつたいながら、地域資源のリノベーションを体験する
コースタイトル	食のありがたみを知るファミリーサイクリングツアー
ターゲット	小川町近隣市町村在住の日本人のファミリー層
ストーリー	オーガニックの里で日本の暮らしと生活を知る

ウェアラブル
端末
でカロリー
計測

記録を
競う「競技
性」追加



健康を促進し、
オリジナリティある
価値の創出



※左記含め計5コース作成し、モニターで実施

目指す姿

- 旅行事業者と共同で造成したコンテンツ・コース造成によるターゲットの獲得
- スポーツ×観光×ウェルネスで選ばれる地域、そして滞在の創出